襲㊤　戦後70年　伝える戦争の記憶

# 念願の晴れ舞台 実現

大分を拠点に目指す高みに向けて進化を続けるＴＡＯ

## TAOが描く 日本の夢 ①

### NY公演を終えて

竹田市久住町を拠点に活動する和太鼓アーティストグループ「TAO」は2月、念願だったエンターテインメントの本場・米ブロードウェーでの公演を成功裏に終わらせた。晴れ舞台での熱演、夢を実現させるまでの軌跡、これから目指すさらなる高みについて、タオ・エンターテイメントの藤高郁夫代表がつづる。

## ブロードウェーで〝奇跡〟

2016年2月、ニューヨーク。記録的な大寒波に見舞われる中、ブロードウェーの一角にある劇場で、熱気あふれるスタンディングオベーションが幾度となく湧き起こった。ステージ上には、日本の美しい原色を背景に和太鼓を演奏する総勢24人の日本人アーティスト。竹田市に本拠地を構えて23年目になる、和太鼓エンターテインメント集団DRUM TAOである。

TAOはこれまでに世界22カ国・400都市で公演し、観客動員数は700万人に迫る（2月末現在）。日本でも全国ツアーを行っており、国内の年間公演数は200回超。米国では10年以降隔年でツアーを行い、ニューヨークでも実績はあるのだが、「ブロードウェー公演」は、舞台人にとって格別の意味合いを持つ。

ブロードウェーとは本来、ニューヨークを南北に走る目抜き通りの名称である。その名前を有名にしているのは、ニューヨークの中心地マンハッタンの区画に広がる劇場街だ。世界中の演劇やミュージカルなどのショーが常にひしめき合い、成功すればその名が世界中に知れ渡る一方、受け入れられなければ二度と戻って来られない、舞台人にとってまさに一世一代の大勝負。それぞれの劇場も格式が高く、劇場が内容を認めて初めて上演許可が下りるため、上演自体のハードルが高い。ブロードウェーとは一流作品の代名詞であり、TAOもいつか実現をと、長年構想を温めていた。今回初挑戦にしてニューヨーカーの心をつかむという、ものすごい〝奇跡〟がTAOに起きた。しかしその道は、想像を絶するほど険しく長い道だった…。

大分合同新聞
www.oita-press.co.jp
3/14 月曜日 夕刊
創刊1886年（明治19年）
大分合同新聞社
〒870-8605 大分市府内町3-9-15
© 大分合同新聞社 2016
大分 097-536-2121 別府 0977-22-2121
FAX 097-538-9674 FAX 0977-25-1230
朝夕刊 完全連続紙
単独販売の朝刊、夕刊、統合版はありません。

過去記事読めます
大分合同新聞 プレミアムオンライン Gate ゲート
連載のコーナーで「伝える戦争の記憶」の過去記事も読めます。

❷香川が今季5得点目

⑪「検体測定室」知って

日本で大活トンの頂点らむ五勝負い。わ笑顔集めたソンの

【カイロ共ルコ首都13日午後間14日午省によると、大規模な

爆